

## 目次

議長新年あいさつ……………	1
新春を迎えて各会派の抱負…	2～4
概要・議決……………	5
代表・一般質問……………	6～11
委員会の活動記録……………	12・13
審議結果、請願……………	14・15
お知らせ……………	16

# No.228

2021年(令和3年)1月1日

令和2年 第4回定例会

令和2年11月26日～12月4日

# みなと 区議会だより

## 議長新年のあいさつ

区民の皆様におかれましては、健やかに新年をお迎えに  
なられたことと、心からお慶び申し上げます。

年頭に当たり、港区議会を代表して、ご挨拶を申し上げ  
ます。

昨年は新型コロナウイルス感染症に翻弄された一年となり  
ました。新型コロナウイルス感染症によりお亡くなりになら  
れた方々のご冥福をお祈りするとともに、感染された全ての  
方々、ご家族の皆様にお見舞いを申し上げます。

また、未知の感染症が拡大を続ける局面においても、医  
療従事者の方々はもとより、現場そして裏方として区民生活  
を支え、社会機能の維持にご尽力いただきましたすべての  
方々に深く感謝を申し上げます。

昨年来、世界中に感染が拡大した新型コロナウイルス感  
染症は、私たちに、これまで経験したことのない未曾有の  
混乱を引き起こしました。

3月2日から区立幼稚園、小学校、中学校が一斉臨時休  
業、3月24日には東京2020オリンピック・パラリンピッ  
ク競技大会の延期が決定、そして4月7日には緊急事態宣言  
が発出されました。

出勤抑制や外出自粛の呼びかけにより、飲食店をはじめ区  
内で事業を営む多くの皆様が深刻な影  
響を受けました。そしてその傷は癒える  
ことのないまま今日を迎えています。

港区議会としては、議決機関として  
の役割を果たしつつ直面する事態に対  
応するため、審議方法を変更するなど  
の対応策をとり、その後も適切な感染  
症予防対策をとった上で、本会議、各  
委員会等を開会してまいりました。

昨年第4回定例会において議決いた  
しました「港区議会議員の議員報酬等の特例に関する条例」  
は、議会活動の土台となる会議等を連続して欠席した場合、  
報酬及び期末手当を減額するもので、区議会議員34名の総  
意として制定したものです。これを契機に、私を含め全議員  
が区民の代表として選出されていることの重責を再確認し、  
改めて区民の思いに真摯に応えて行きたいと考えています。

未だ予断を許さない状況であることには変わりありませ  
んが、夏には延期されたオリンピック・パラリンピックも開催さ  
れます。

私たち港区議会は、コロナ後のあり方を見据え、区民の健  
康と生活を守り、地域が活力を再び取り戻すため、行政との  
綿密な連携のもと、創意工夫と叡智を結集し、活発な議会活  
動を通じて、区民の皆様の負託に応えて参ります。

皆様に取りましてこの一年が希望に満ち溢れた、素晴らし  
い年となりますことを心から祈念いたしまして、私の新年の  
ご挨拶とさせていただきます。



港区議会議長  
二島 豊司



港区議会

〒105-8511 港区芝公園1-5-25

電話03-3578-2920 FAX 03-3578-2932

○ホームページ

<https://www.gikai.city.minato.tokyo.jp/>

○フェイスブック

<https://www.facebook.com/minatokugikai/>



表紙をあなたの写真で飾りませんか？

【写真のテーマ】

私が好きな港区の風景

(発行月の季節にあった風景)

詳しい応募方法は、16頁をご覧ください。



# 新春を迎えて 各会派の抱負



## 自民党議員団

輝かしい新年をお迎えのことと、謹んでお慶び申し上げます。日頃より、私たち自民党議員団に対するご厚情を賜り、心から感謝と御礼を申し上げます。

新型コロナウイルス感染症の発生より、まもなく1年が経過しようとしています。「新しい生活様式」を推進していく中で、これまで以上にさまざまなご意見が挙がり、区に対するニーズも多様化してきました。区議会としても想定外の状況にも対応できるよう、より一層危機管理体制の充実に向けた取組が必要と改めて認識をした次第です。

昨年はJR山手線高輪ゲートウェイ駅が暫定開業し、また東京メトロ日比谷線虎ノ門ヒルズ駅も開業いたしました。更なる発展が見込まれる港区におきましても、都市整備が区民生活の向上に資するものとなるよう、進めていきます。

また、本年4月には待望の児童相談所を併設し

た（仮称）港区子ども家庭総合支援センターが青山に開設します。全国においても先駆的な総合支援を必要な方に届けられるよう、惜しみない協力をしてまいります。

代々港区に居を構える皆様、港区に移り住まれた皆様、そして港区で生まれ育つ次世代の子どもたちのための港区です。あらゆる立場の区民に目の行き届く区政運営、そして安心して暮らし続けられる港区の実現に向け、執行機関と連携し区政課題の解決に向け全力を尽くします。

私たち自民党議員団の一人ひとりが地域、諸団体、そして区民お一人おひとりの声や想いを真摯に受け止め、区政に反映させるべく、地域に根差した責任ある区議会第一会派として取り組んでいきます。

本年が区民の皆様にとりまして明るく希望に満ちた一年となりますよう、心から御祈念申し上げます。本年もどうぞよろしくお願いいたします。



黒崎 ゆういち



小倉 りえこ



やなぎざわ なおき



鈴木 たかや



土屋 準



ゆうき くみこ



二島 豊司



池田 こうじ



清原 和幸



うかい たか彦



井筒 宣弘



## ●●● みなと政策会議 ●●●

新型コロナウイルス感染症が一刻も早く終息し、みなさまの笑顔が曇らない年となりますよう、祈念申し上げます。

区議会にとって、2020年は節目の年となり、予測がつけにくい中でも、迅速さが求められるコロナ禍対策や、議会自身の在り方について、試行錯誤を重ね、議論を積み上げてまいりました。

私たちみなと政策会議は、10名の議員が集う区議会の第二会派（立憲民主党、国民民主党、社民党及び無所属）です。その責務を痛感しながら、事業者や個人の立場に寄り添う活動を目指してまいりました。時に行政や他の会派と一丸となってコロナ禍対策に尽

くし、皆様からお預かりした行政へのご要望やご意見を実現すべく全力で取り組みました。そうした活動の中で、事業者支援、高齢者支援、障がい児支援に多子世帯支援それから防災など、さまざまな課題を提案実現できました。また、10名中6名が女性という会派の特色を生かし、特にひとり親支援や保育・教育環境の充実に力を入れております。

今年は、港区初の児童相談所が誕生します。この施設は、先の見えにくい時代に、それでも子どもたちが希望を忘れず生きられるよう、家族がともに安全に過ごせるよう、人権の砦となるべき施設です。その実現に向け、私たちも議論を尽くします。

2021年、私たちはさらに区民や事業者の皆様へ寄り添える会派を目指します。また本年こそ、議会改革を一気呵成に進めてまいります。

悩み尽きない年となりそうですが、塞翁が馬の心持で、みなさまと一緒に乗り越えるべく、精進いたします。



石渡 ゆきこ



榎本 あゆみ



山野井 つよし



兵藤 ゆうこ



横尾 俊成



清家 あい



杉浦 のりお



なかまえ 由紀



阿部 浩子



七戸 じゅん

## ●●● 街づくりミナト ●●●

コロナ禍を契機に区民目線の街づくりに一層取り組みます。

玉木 まこと



## ●●● スマイル党 ●●●

今年も港区がスマイルいっぱいになるよう頑張ります。

マック 赤坂



## ●●● 虚偽報道に負けない会 ●●●

旧年の虚偽拡散は残念でした。

今年は宜しく願います。

赤坂 大輔





# 新春を迎えて 各会派の抱負

## 公明党議員団

謹んで新年のお慶びを申し上げますとともに、皆様には、日頃より温かくも力強いご支援を賜り、心より感謝と御礼を申し上げます。

さて、昨年は新型コロナウイルス感染症の対策として、区民の皆様の命と健康と生活を守り、区内事業者の皆様への支援にも全力で取り組み、高齢者施設等福祉施設の PCR 検査、商品券特別給付事業など、

さらに、出産費用助成の上乗せも決定いたしました。

本年は東京2020大会も開催されます。私たち公明党議員団は国や東京都とのネットワークを駆使し、さらに区民の皆様に安心していただける港区となるよう、力を尽くして参ります。

皆様にとりまして幸多き一年となりますことを心からお祈り申し上げます。



なかね 大



丸山 たかのり



池田 たけし



近藤 まさ子



杉本 とよひろ

## 共産党議員団

新年あけましておめでとうございます。新型コロナウイルス感染症の拡大で昨年1年間は区政にとっても区民の皆さんにとっても大変な年でした。感染拡大防止のために取り組みます。新型コロナウイルス感染症は、これまでの政治や社会のあり方が大きく問われました。政治を変えるために野党連合政権の実現を目指して参ります。引き続き区民の皆さんの声を区政に反映させるために頑張ります。

## 都民ファーストの会

あけましておめでとうございます。昨年はコロナ禍により私たちの日常が一変し、暗い話題の多い一年となりました。今年は皆様にとりまして少しでも幸多き一年となりますよう心からご祈念申し上げ、ご挨拶とさせていただきます。



福島 宏子



熊田 ちづ子



風見 利男



琴尾 みさと



榎本 茂



# 会議日程

## 令和2年第4回定例会 会議日程

- ◇ 11月26日…**運営委員会・本会議**  
会期決定 諸報告 決議  
代表・一般質問4名
- ◇ 27日…**運営委員会・本会議**  
代表・一般質問7名  
先議議案付託  
**総務・区民文教常任委員会**  
議案の審査、委員長報告  
**本会議**  
先議案件議決、議案等付託
- ◇ 30日…**4常任委員会**  
議案の審査

- ◇ 12月1日…**保健福祉・区民文教常任委員会**  
議案の審査
- ◇ 2日…**4常任委員会**  
議案・請願等の審査
- ◇ 4日…**4常任・5特別委員会**  
委員長報告・中間報告等  
**運営委員会・本会議**  
議案等の議決



## 定例会の概要

令和2年第4回定例会は、11月26日から12月4日までの9日間にわたって開会されました。

初日は、赤坂大輔議員に対して再度議員辞職を勧告する決議を議決した後、代表質問が行われました。

翌日27日は、前日に引き続き一般質問が行われ、2日間で11人の議員から区長、教育長及び議長に対して質問が行われました。

区長から提出された案件を審議した結果、条例制定・条例改正・補正予算など29件を原案どおり可決しました。

皆さんから提出された請願は、1件を採択、3件を不採択、7件を継続審査としました。

議員提出による案件は、決議1件を可決したほか「港区議会議員の議員報酬等の特例に関する条例」1件を可決しました。



## 港区議会議員の議員報酬等の特例に関する条例を議員立案で議決

区民の信託を受けた港区議会議員としての職責を自覚し、港区議会への区民の信頼を確保するため、定例会や委員会など区議会の会議等を連続して欠席した場合における当該議員の報酬及び期末手当の支給の減額について、「港区議会議員の議員報酬等の特例に関する条例」を34名の総意により制定しました。

### 【主な内容】

- ・自己都合その他の事由により、60日を超えて会議等を連続して欠席した場合、欠席期間に応じて、議員報酬及び期末手当を減額する。
- ・欠席事由を明確にするため、公務上の災害や疾病、産前産後の休業など、やむを得ない事由による欠席については適用除外とする規定を定める。

# 代表・一般質問

11月26・27日

※右の二次元コードをスマートフォンで読み取ると「動画配信」をご覧ください。



## 自民党議員団

### 新型コロナウイルス感染症に関わる対策について

- Q. インフルエンザ同時流行への備えについて
- A. 発熱等の症状がある患者がどちらの検査も安全に受けられるよう、港区医師会や区内病院に対して感染防止対策資器材の購入経費の一部を補助する。安心して地域の医療機関を受診できる環境を整備する。
- Q. 施策の見直しの視点と新たな取組の推進について
- A. 感染症拡大防止の取組のほか、子育て、福祉、産業の各分野の施策を見直すとともに、新たな視点に立った支援策を検討し実施する。
- Q. コロナ禍における区民意見募集の工夫について
- A. ホームページ等での受付に加え、広報みなとの特集号を全戸配布したほか、料金受取人払の様式を封筒に貼ることで意見を無料で郵送できる工夫に取り組んでいる。
- Q. 全国連携の推進について
- A. 区内企業と協定を締結し、今後区内商店や連携地域の特産品等のオンライン販売を促進する。

### 来年度の予算編成について

- Q. 区長査定について
- A. 特に予算編成方針における重点施策や、港区基本計画に掲げた分野別の取組に重点を置く。

### 都区財政調整制度について

- Q. 普通交付金が交付されていないことについて
- A. 港区は平成15年度から不交付が

続いている。普通交付金の算定は各区の実態に見合った、あるべき需要が反映されることが重要と考えている。

### Q. 区の主張について

- A. 児童相談所関連経費について、区の主張が一部受け入れられた。区は高額な用地取得費や路上喫煙対策など、都心区特有の需要が適切に算定されるよう求めている。

### 港区基本計画について

### Q. 総括について

- A. 港区政策評価において、達成または概ね達成と評価された。地域共生社会の実現に向けて取組を推進することができたと考えている。



### Q. 人口回復を推計する根拠について

- A. 実質 GDP 成長率と区の転入超過数に相関がある。内閣府が7月に発表した経済見通しを基に、景気の回復に伴い人口が回復し増加に転じるものと見込んでいる。

### 非課税世帯に対する商品券給付事業について

### Q. 経済効果について

- A. 区内共通商品券の給付は現金の給付と異なり、貯蓄に回ることや区外へ流出することなく、区内の消費喚起に効果がある。試算では約6億6千万円分の給付に対して、1.4倍程度となる約9億3千万円の経

済効果を見込んでいる。

### 産業振興について

- Q. プレミアム付き区内共通商品券の発行支援について
- A. インターネット等での事前申込制の導入や振込を新たに実施した。今後も利便性の向上を図るため、商品券の電子化に向けた検討を進める。



### Q. 港区立産業振興センターについて

- A. コロナ禍のような社会変容の時代にあっても、区内中小事業者が安心して支援をワンストップで受けられる拠点施設とする。新しい時代に求められる機能を充実させる。

### 港区の教育について

### Q. 教科担任制の導入について

- A. 国や東京都の動向を見ながら、区独自で区費講師や中学校教員の幅広い活用を推進し、より多くの小学校高学年での教科担任制の導入を支援する。
- Q. オンデマンド型の ICT 教育の充実について
- A. 臨時休業の場合の備えや通常の授業の活用のほか、夏休み等の長期休業中にも学べるよう、企業から提供を受けた豊富な教材を掲載していく。



### 自転車利用について

### Q. 区の取組について

- A. 「新しい生活様式」において、区民が快適かつ安心して自転車を利用できるよう、総合的な自転車活用の方針について検討する。





### 3歳児健康診査について

#### Q. 運用の改善について

A. 健診の運営状況を見極めながら、保護者のスケジュールが立てやすくなるよう、2か月先まで予約可能にする。

### 区のがん検診について

#### Q. 質の向上について

A. 精密検査が必要な方が確実に検査を受診していただけるよう、効果的な受診勧奨方法や結果把握の仕組みについて検討していく。

### 保育について

#### Q. 多様化するニーズへの対応について

A. ニーズを踏まえ様々なサービスを提供している。保育を取り巻く環境の変化が、保護者の保育施設等の選択先に及ぼす影響について分析を進めており、充実に取り組む。



#### Q. 自然体験と食育の充実にについて

A. 現在、芋掘り遠足など長距離移動を伴う体験活動は難しい。感染防止対策をとりながら、園児の自然体験の機会の確保や食育活動に取り組む。

### 児童相談所について

#### Q. 専門性を生かした支援について

A. 虐待通告を児童相談所に一元化し、医師等の専門職がリスク判断を行う。児童福祉司や弁護士等が子どもの意見を丁寧に聴き、子ど

もの心理治療や親子関係を改善するプログラムの実施に力を入れる。

#### Q. 里親認定における住宅環境について

A. 認定基準では子どもの年齢や家族構成に応じて適切な環境を確保するとし、住宅のおおよその広さと間取りを示している。港区で里親になることを希望する方の住宅に係る支援は、今後研究していく。

### 港区業務継続計画について

#### Q. 新型インフルエンザ編改定について

A. 現在課題を整理している。来年度に改定する。その後も社会情勢や環境変化に即応し、適宜改定を行う。

### 行政組織について

#### Q. 総合支所と支援部の連携について

A. 総合支所及び支援部の業務経験を生かした職員配置を進め、総合支所中心の区政運営の充実・発展に向け取り組む。

#### Q. 業務自動化ツール(RPA)について

A. 積極的に導入し、業務の効率化が進められた。職員によって企画立案が求められる新たな行政課題や、多様化する区民ニーズに取り組める職場環境につながった。

#### Q. RPA導入による超過勤務や職員数の変化について

A. 職員の業務負担の軽減につながった。そのため行政需要が増大しても、超過勤務の抑制に効果が上がっていると同時に、職員数を増大させることなく職場運営に寄与していると考えている。

### ちいばすについて

#### Q. 運行改善について

A. 地域の意見を伺いながら、利便性やアクセス性、収支率等を総合的に勘案し、運行改善について検討する。



### 区のイベント参加について

#### Q. 参加時の申込方法について

A. オンラインでの申込受付の拡大や、区全体での申込方法の統一化について、各部門の事業の実施状況も踏まえて検討する。

### 聞こえの支援について

#### Q. 検討状況について

A. 今年度は、厚生労働省が主催する難聴高齢者の補聴器利用に関する研究事業に検討委員として参画している。

### 東京2020大会について

#### Q. ホストタウン交流事業の推進について

A. 5月にジンバブエ共和国のホストタウンとなった。大使館と定期的な協議を進め、地域や学校イベントに同国の文化を取り入れるなど、幅広い分野の交流を推進する。

## みなと政策会議

### 財政運営について

#### Q. 次期港区基本計画で区債を予定している背景は

A. 区債を効果的に活用することで基金残高を確保し、将来課題や緊急的課題にも迅速かつ柔軟に対応できる安定的で計画的な財政運営を行っていく。

#### Q. 区債が区財政に与える影響について

A. 区債には公共施設の整備等単年度に多額の財源を必要とする事業について財政負担を平準化する年度間調整の機能がある。

### 震災復興基金について

#### Q. 震災復興基金を生かした復旧復興事業の考え方は

A. 1日も早い復旧復興を目指し、がれき処理や公共施設の復旧とともに、被災区民や中小企業に対し生活再建、事業継続の支援金を支給するほか、仮設商店街の設置などの支援策を、国や東京都の財政上の措置や支援を待たず、迅速に実施する。

## 人口見通しと区政への影響について

- Q. 直近の人口推計と動向を踏まえた人口に関する見通しと今後の区政運営への影響は
- A. 区の人口は本年5月から減少しており人口推計では令和3年9月まで人口が減少し、それ以降は転入超過数と相関がある実質GDP成長率の上昇に伴い人口が増加に転じると見込んでいる。中長期的な人口増加傾向は変わらないと見込んでおり、引き続き行政需要に的確に対応していく。

## ICT活用によるデジタル社会の実現について

- Q. 方向性とその効果は
- A. デジタル化の進展により、場所や時間に捉われずに行政手続きを行うことが可能となり利便性が向上する。

## サイバー犯罪の脅威から区民を守る取組について

- Q. サイバー犯罪の脅威から区民を守る取組は
- A. 区は警視庁等と連携し、最新のセキュリティ対策や新たな手口によるサイバー犯罪の情報を区HP等の活用やセミナーの実施により発信する。

## 羽田空港新飛行経路の固定化回避に向けた取組について

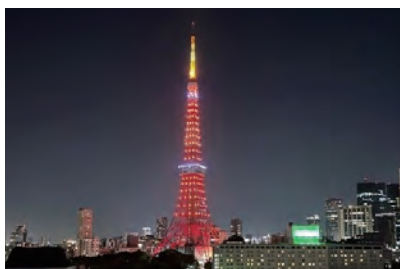
- Q. その後の取組について
- A. 近隣区と情報共有や連携を図ると共に、国に区民への丁寧な説明、騒音、安全対策、飛行経路の様々な運用を検討するよう求めていく。



## 児童虐待対策の推進について

- Q. 児童虐待の増加をどう捉えているのか
- A. 昨年10月から、警察が介入し児童相談所に書類通告した子どもの

面前での夫婦喧嘩や、近隣からの子どもの泣き声通告等の受理を開始したことで増加している。区が対応することで速やかに子どもの安全確認や家庭の支援に繋げることができる。



「STOP 児童虐待!東京タワーオレンジリボン大作戦」でライトアップされた東京タワー

## 認知症対策について

- Q. 認知症当事者が社会参加できる体制づくりは
- A. 認知症に理解があり適切な対応ができる区内の事業所や店舗を「認知症サポート店」として認定する事業を開始し、認知症当事者や家族を地域で見守る取組を推進し、自己の能力を生かし社会参加できる体制を積極的に進めていく。

## 障がい者のグループホームについて

- Q. 障がい者の重度化・高齢化・親なき後を見据えた新たな類型のグループホームとは
- A. 住居と一体化した日中活動が出来る日中サービス支援型のグループホームの必要性を検討していく。



## 区内経済回復のための産業振興施策について

- Q. 資金繰りが厳しい飲食店や企業への産業振興施策は
- A. 事業者の皆さんのご意見を聞き

必要な支援をしていく。

## 町会・自治会の支援について

- Q. 会議のオンライン化や助成金の必要性は
- A. ICT化支援や自主的活動の補助金見直しを検討する。

## 2050年CO<sub>2</sub>排出実質ゼロ宣言について

- Q. 区の見解は
- A. 国や東京都とも連携を図り取組の充実を図っていく。

## コロナ禍でのひとり親家庭等の支援について

- Q. 「エンジョイディナー事業」でひとり親家庭に対してお弁当の提供をしている。12月25日に終了の予定だが継続して対応すべき
- A. 早急に検討する。



## AYA世代に向けたがん不妊治療について

- Q. 15歳から39歳の若い世代のがん不妊治療へ区の助成制度を設置すべき
- A. 国の動向を注視していく。

## インクルーシブ教育について

- Q. 共生社会の形成に向けたインクルーシブ教育の見解は
- A. お互いの良さを認め合う教育の充実や個に応じた学びの保障等、共生社会の実現に向けたインクルーシブ教育を推進していく。

## 教員の働き方改革について

- Q. 教員の働き方改革を効率良く区内の民間事業者等と連携することの区の見解は
- A. 区内の地域人材や民間事業者と連携し、教職員の負担軽減を図ることで時間を創出し、より充実した教育活動を推進していく。



## 港区公式 LINE ができることの拡大を

- Q. 渋谷区の公式 LINE では一部制度の窓口予約や公園道路などの不具合の通報ができる。港区の公式 LINE も情報発信だけではなく双方向性に
- A. 今後、双方向性を高める。



港区の公式 LINE

## 新型コロナウイルス感染症拡大への備えについて

- Q. 感染拡大が大きく報じられる中、港区の保健所、医療機関、療養施設などの体制は大丈夫なのか、区民へわかりやすいメッセージを
- A. 区内医療機関等と連携を密に、診療や検査の着実な実施体制を整備しており、今後は重症者対策と軽症者の療養支援を強化する。区民等に分かりやすく発信する。
- Q. 発熱等の症状が出た場合、地域の医療機関または東京都発熱相談センターへという相談の流れを区民に周知徹底を
- A. 分かりやすく周知していく。

## コロナ禍による影響把握と今後の独自施策の打ち出しについて

- Q. 一律給付ではなく困っている方へ重点的というのが区の考え方。であれば困っている層の的確な把握が重要。今後さらに的確に影響を把握し、複層的な施策で救済が必要がある。無駄や必要性の薄い事業をカットしつつ、子育てなど未来につながる投資、高齢者・障害者・生活困窮者など困っている層への支援は手厚くすべき。今後、女性の苦境や収入激

## 減世帯へもしっかりと支援を

- A. 引き続き区民生活への影響を的確に把握し、新たな視点に立った支援策を実施する。

## 保育園保育料について

- Q. 待機児童問題が一定の落ち着きを見せ、保育の質や女性活躍に視点がシフトしつつある今、保育料は、保護者の声をしっかり聴き、入所選考基準などと合わせて総合的に決めるべき
- A. 保護者の声やニーズを的確に把握しながら、より適切な入所基準となるよう取り組む。

## ひきこもりの支援について

- Q. 全国に100万人と言われている、ひきこもる子どもと年老いた親を孤立させない社会の実現に向け、偏見をなくすこと、見守り、支援が必要
- A. 積極的に取り組む。

## 公明党議員団

## 押印廃止と書面主義の見直しについて

- Q. 区民サービスの向上に向け、早急に対応を
- A. 原則令和3年1月までに7割弱の様式から押印を廃止するとともに、デジタル化により書面主義を見直す。



## 5G活用の今後の展開について

- Q. どのように展開するのか
- A. アンテナ設置可能施設の公開や実証実験などに取り組む。

## 避難所の機能強化について

- Q. 近年の災害状況から想定を見直し機能強化を図るべき
- A. 一層の環境改善を推進し通信機能の強化を検討する。

## ゼロカーボンシティの表明について

- Q. 区のSDGsの取組を加速させるために表明すべき
- A. 2050年CO<sub>2</sub>排出量実質ゼロ実現を計画に掲げた。



## SDGs達成と消費者意識の向上

- Q. エシカル消費やサーキュラーエコノミーの普及について
- A. 周知し、消費者の環境意識の更なる向上に取り組む。

## 福祉総合窓口のケアラー支援を

- Q. ケアラーへの重層的・横断的な支援をすべき
- A. 包括的な相談体制を構築し、各部門の連携を強化する。

## 別居中・離婚前のひとりで子育てする家庭への支援について

- Q. 区として把握し、児童手当など必要な支援体制構築を
- A. 離婚を考えている別居中の親に対し、支援や相談などの取組の充実を図っている。

## 産後ケア事業の拡充について

- Q. 母子保健法の一部改正を受け、産後4か月から1年へとケアの対象を拡充すべき
- A. 産前産後・育児支援事業の期間延長を早急に検討する。

## 会食時の感染防止策について

- Q. 直接飲食店や来客者に対しても区の取組を啓発すべき
- A. 商店街事業者や外国人に会食マナーガイドを周知する。

## 中小企業支援策について

- Q. 申請における非接触やスピードアップへの対策は
- A. オンラインでの申請や経営相談を実用化し対応する。

## 老朽化マンション対策について

- Q. 容積率の緩和特例や敷地売却の適用拡充など周知啓発をすべき
- A. 法の施行に向けて情報の周知に努める。

## 学びのSTEAM化について

- Q. 経済産業省の教材も活用し、STEAM化にも取り組むべき
- A. 科学的探究心を育む教育活動を充実させ、「学びのSTEAM化」を一層推進する。

## 来年度予算について

- Q. 厳しい状況を踏まえメリハリある予算の編成を
- A. 重点施策の取組を積極的に事業化し予算編成していく。

## 行政のデジタル化について

- Q. デジタルミニマムを反映した行政のデジタル化を
- A. 誰もが利用しやすい行政のデジタル化を進めていく。

## みなと保健所の体制強化について

- Q. 新型コロナウイルス感染症対策の長期化も見据え保健所の体制強化を
- A. 業務委託やICTの活用も検討し、体制を構築していく。

## ワクチン接種体制の構築について

- Q. ワクチン接種の実用化に備え必要な執行体制の構築を
- A. 関係機関と連携し、円滑な実施に向けて取り組んでいく。

## SDGsが掲げる課題への取組について

- Q. 官民一体となってSDGsが掲げる課題への取組を
- A. 官民一体となってSDGsの取組を推進していく。



## SDGsの教育の推進について

- Q. 各学校の取組状況と今後のSDGs教育の推進について
- A. 実践例を周知し学習できるよう指導充実を図っていく。

## 感染症教育の取組について

- Q. 感染症教育の重要性と指導内容を家庭と連携し徹底を
- A. 学校と家庭が連携し正しく実践できるよう努めていく。

## いじめ防止対策について

- Q. いじめの早期発見と重大事態を回避する取組の推進を
- A. 変化にも速やかに気付くよう教員の資質向上に努める。

## 共産党議員団

## 核兵器禁止条約署名、批准の国への申し入れについて

- Q. 国に核兵器禁止条約への署名・批准を要請すべき
- A. 核兵器廃絶と世界の恒久平和の実現を訴えていく。

## コロナ禍における区有施設の使用料の軽減について

- Q. 密を防ぐための対策で利用人数制限をする以上、使用料金は引き下げをすべき
- A. 施設の利用実態等を早急に調査する。

## 保健所の体制強化について

- Q. これから冬に向かって感染拡大に対応するために、専門職を確保し保健所の体制を強化すべき
- A. 新規採用職員の繰上げ採用も視野に入れ、感染状況に的確に対応できる執行体制を確保していく。

## 高輪築堤(ちくてい)の遺構保存と見学会開催を

- Q. 鉄道開通時をほうふつとさせる「高輪築堤」は、国民共有の財産、貴重な文化財であることから、JR東日本に、遺構の保存と見学会の開催について強く要請すべき
- A. 高輪築堤の遺構は、貴重な文化財という認識であるため、改めて保存

について事業者に要請していく。見学会についても、実現できるよう要請していく。



「東京品川海辺蒸気車鉄道之真景」港区立郷土歴史館所蔵

## 都心低空飛行の運用中止を

- Q. 羽田空港都心低空飛行を直ちに中止するよう国に要請すること
- A. 騒音対策や安全対策、飛行経路の様々な運用などを検討するよう、強く求めていく。
- Q. 航空事故災害を想定した「危機管理計画」を策定すること
- A. 港区危機管理基本マニュアルを改正し、新たに落下物発生時の情報連絡体制を明記。危機発生時は災害対策本部の設置等をマニュアルに明記し、全庁の体制で対応に当たる。

## 異常気象から生命と地球環境を守る

- Q. 区として「気候非常事態宣言」を発信し、区内外に区の姿勢を示すこと
- A. 宣言は行っていないが、CO<sub>2</sub>削減に取り組む。
- Q. 区立小学校の校庭は天然芝による緑化を進めること
- A. トラック部分以外でできるところは、天然芝を進めていく。



芝生で遊ぶ子どもたち

## 都民ファーストの会

## ひとり親の養育環境の確保について

- Q. ひとり親家庭の就労時、更なる養育環境の確保を
- A. 港区保育利用調整基準において、ひとり親家庭の養育環境を支援す



るために優先的な配慮を行っているが、今後、よりご家庭の状況に応じた基準となるように検討していく。

### 迷惑行為に対するマナーの啓発について

- Q. デリバリー業者による迷惑行為への対応について
- A. デリバリー業者が店舗前に大勢待機して通行の妨げになる行為や、たばこのポイ捨て、交通ルール違反等が確認されており、区民の方々からもご意見が寄せられている。こうした現状を踏まえ警察署とも連携し、事業者に対し、配達員の迷惑行為の防止とマナー向上に取り組むよう要請していく。また、青色防犯パトロールの隊員が配達員による迷惑行為を確認した際には、注意喚起や警察署への通報など状況に応じて対応していく。



### 多子世帯における移動時の利便性向上について

- Q. 区の施設にレンタルベビーカーを設置して頂きたい
- A. 施設利用者へのベビーカーの貸出しは、不特定の方が利用するため、衛生面において利用者が不安を感じることも想定される。安心してご利用いただき、施設利用のサービスの向上につながるよう、ベビーカーの貸出しの導入について、検討していく。



### 街づくりミナト

### 新型コロナウイルス感染症の年末年始での取組について

- Q. 家庭内感染が最多となり、家族で過ごす時間が多い年末年始に感染症を抑え込むことが重要だが、区を取組は
- A. 12月上旬には家庭内の感染症対策リーフレットを完成させ、注意喚起を行う。

### 高輪築堤(ちくてい)の遺構について

- Q. 高輪ゲートウェイ駅前の開発現場から国内初の鉄道開業時に海上を通すために造られた高輪築堤の遺構が発見されたが、街づくりへの影響は
- A. 鉄道開業時の歴史や技術を伝える重要な遺構であり、事業者の検討状況を注視し、相談・協議に適切に対応する。



明治末頃の高輪築堤(「最新東京名所百景」港区立郷土歴史館所蔵)

### 虚偽報道に負けない会

### 広聴システムにおける匿名意見の取扱いについて

- Q. ひどい虚偽報道がなされた前回同様、今回の報道も事実と異なる部分を多く含む。乱痴気騒ぎの状況、登場人物、通報者の混同、結果的に逮捕された人数、私が一切一言も云っていない発言等々、全体的な状況やニュアンスが全くと云っていい程事実を反映していない報道が拡散している状況下、誤情報に基づいた匿名意見が広聴システムを利用して寄せられた。匿名だとかこちらから事実関係の伝えようもなく一方通行だ。意見の表明に責任が生じない匿名意見は、実名意見と同等に扱うべきではないと考えるが、御見解を伺う
- A. 「港区区民の声への対応に関する要綱」に基づき適正な取り扱いに努める。

### 区議会はどなたでも傍聴できます

区議会の会議は原則公開されており、本会議や委員会は傍聴できます。本会議場の傍聴席にはモニターを設置しており、代表・一般質問時には手話通訳及び字幕もご覧いただけます。

会議の開催予定については、区議会ホームページやポスター等でご案内いたします。

#### 【問い合わせ先】

区議会事務局議事係

電話 03-3578-2915



### 【各会派の連絡先】

不在の場合は、区議会事務局へ  
電話 03-3578-2911

#### 自民党議員団

電話 03-3578-2927  
F A X 03-3578-2909

#### みなと政策会議

電話 03-3578-2938  
F A X 03-3578-2949

#### 公明党議員団

電話 03-3578-2935  
F A X 03-3578-2937

#### 共産党議員団

電話 03-3578-2945  
F A X 03-3578-2947

#### 都民ファーストの会

電話 03-3578-2922  
F A X 03-3578-2922

#### 街づくりミナト

電話 03-3578-2948  
F A X 03-3578-2854

#### スマイル党

電話 03-3578-2948  
F A X 03-3578-2854

#### 虚偽報道に負けない会

電話 03-3578-2922  
F A X 03-3578-2922

# 常任委員会の活動記録

●議案名、概要

○主な質疑

## 総務

- 議案第92号 港区震災後の区民生活の再建並びに産業及びまちの復旧復興のための基金条例の一部を改正する条例

震災後の区民生活の再建並びに産業及びまちの復旧復興のための基金について、新たに新型インフルエンザ等対策特別措置法に定める新型インフルエンザ等が発生した場合における感染拡大の防止等のために活用できるようにする

- 基金の活用対象とする基準
- 活用範囲を震災と自然災害に分けている理由

- 議案第93号 港区分担金等に係る督促および滞納処分ならびに延滞金に関する条例の一部を改正する条例 地方税法の一部改正に伴い、規定を整備する

- 延滞金利率改定の時期
- 利率の告示までの期日が早まっている理由

- 議案第107号 令和2年度港区一般会計補正予算(第6号)

総務費で、主に「港区商品券特別給付事業」に要する経費を計上し、主に「高輪地区あっぷリング高輪フェスティバル」に要する経費を減額し、環境清掃費で、「みなとタバコルール推進」に要する経費を減額し、民生費で主に「高齢者施設等におけるPCR検査支援事業」に要する経費を計上し、主に「み

なとキャンプ村」に要する経費を減額し、衛生費で、主に「健康管理システム維持管理」に要する経費を追加し、産業経済費で、「区内共通商品券発行支援」に要する経費を追加し、主に「企業間連携交流会・分科会」に要する経費を減額し、土木費で、「運河の魅力向上事業」に要する経費を減額し、教育費で、「高輪台小学校校舎増築」に要する経費を追加し、主に「学力向上事業」に要する経費を減額する。また繰越明許費として「東京2020大会準備・啓発」など14件について、翌年度に繰り越して使用することができる経費を追加する

- 議案第117号 令和2年度港区一般会計補正予算(第7号) 各款にわたり職員人件費等を減額する。また、産業経済費において、財源の更正を行う

- 議案第118号 令和2年度港区国民健康保険事業会計補正予算(第3号) 「国民健康保険事業運営」を減額

- 議案第119号 令和2年度港区後期高齢者医療会計補正予算(第2号) 「後期高齢者医療保険料賦課」を減額

- 議案第120号 令和2年度港区介護保険会計補正予算(第2号) 主に「職員人件費」を減額する

- 予備費の充用や基金を取り崩す際の区の方針
- 商品券特別給付事業で使用する商品券と通常のスマイル商品券の差異

- 議案第108号 物品の購入について(仮称)港区子ども家庭総合支援センターの開設に伴う備品の整備のため、机204台等を購入する

- 購入する物品のうち備品となるもの

- 議案第113号 港区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例

港区特別職報酬等審議会の答申を受け、区議会議員の期末手当の支給月数を改定する

- 議案第114号 港区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例

港区特別職報酬等審議会の答申を受け、区長等の期末手当の支給月数を改定する

- 国内での公民比較と区内での公民比較の差の有無

- 近年の報酬等の変動状況

- 議案第115号 港区職員の給与に関する条例及び港区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例

特別区人事委員会の勧告を受け、職員及び会計年度任用職員の期末手当の支給月数を改定する

- 会計年度任用職員と民間との比較
- 会計年度任用職員も一般職員と同様の引き下げとなった理由

## 閉会中の委員会活動

### 主な報告事項

- ◇港区人口推計の見直し
- ◇令和2年度港区外郭団体経営評価結果

## 保健福祉

- 議案第96号 港区立認定こども園条例及び港区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例

保育料を改める

- 自宅で自営を行う者に対するマイナスの調整指数をつける
- コロナ禍で社会情勢が不安定な中、保育料を改定する理由

- 議案第97号 港区児童相談所の設置に関する条例

児童相談所を設置するため、新たに条例を制定する

- 子どもの権利について子どもに分かりやすく伝えるものを掲示する
- 設置する児童相談所の存在意義や役割を職員間で継承していく

- 議案第98号 港区小児慢性特定疾病審査会条例

港区小児慢性特定疾病審査会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるため、新たに条例を制定する

- 18歳を超えた者に対する対応
- 医療費支給認定をしないことを多数決で決めることのは非

- 議案第99号 港区児童福祉審議会条例

港区児童福祉審議会の組織及び運営に関し必要な事項を定めるため、新たに条例を制定する

- 審議会の独立性及び公開
- 条例制定の影響を受ける関係条例

- 議案第100号 港区児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例

児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定めるため、新たに条例を制定する

- 東京都が条例で外部から食事を搬入

することを特例的に認めている理由

- 国の基準の見直しを求めること及び区独自の基準とすること

- 議案第101号 港区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例 幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定めるため、新たに条例を制定する

- 議案第102号 港区幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例

幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定めるため、新たに条例を制定する

- 区内の私立幼稚園が認定こども園に移行しない理由
- 調理室を備えていない私立幼稚園が認定こども園に移行する場合の対応

- 議案第103号 港区指定障害児通



所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例

指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定めるため、新たに条例を制定する

○児童発達支援管理責任者の資格要件及び事業所における配置確認

○区による監査体制

●議案第104号 港区指定障害児入所施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例

指定障害児入所施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定めるため、新たに条例を制定する

○区民の入所状況

○入所決定に至る過程

●議案第105号 港区児童育成手当条例の一部を改正する条例

児童育成手当に係る支払期月を見直すほか、支給要件を変更する

○現況届の提出方法

○児童育成手当及び児童扶養手当の併給者数

●議案第106号 港区国民健康保険条例等の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、規定を整備する

○地方税法の改正で文言が変わった理由

○区における還付件数及び事例

●議案第112号 児童自立支援施設に係る事務の委託に関する協議について

区が行うこととなる児童自立支援施設に係る事務の管理及び執行を東京都に委託するため、地方自治法の規定に基づき、承認を求める

○区民の入所状況

○入所までの過程及び退所後の支援

#### 閉会中の委員会活動

主な報告事項

◇港区立港南いきいきプラザ改修工事に伴う施設の一部休止

◇港区基本計画・港区実施計画(素案)

## 建設

●議案第109号 訴えの提起について

特定公共賃貸住宅の使用料等を滞納して区の督促に応じない、住宅使用者である個人及びその連帯保証人に対し、建物の明渡し及び滞納使用料等の支払を求める民事訴訟を提起する

○法的措置をとる判断基準の有無

○滞納状況と納付状況の経過

#### 閉会中の委員会活動

主な報告事項

◇港区基本計画・港区実施計画(素案)

◇港区緑と水の総合計画(素案)



## 区民文教

●議案第94号 港区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例

地方税法の一部改正に伴い、規定を整備する

○廃棄物処理手数料及び動物死体処理手数料の延滞金のこれまでの実績

●議案第95号 港区印鑑条例の一部を改正する条例

区における行政手続の電子化を推進するため、電子申請により印鑑登録証明書の交付を申請する場合の手続の要件を緩和する

○印鑑登録証明書を交付する際に提示されていた印鑑登録証に代わる本人確認の方法

○導入にかかる費用の妥当性

●議案第110号 指定管理者の指定について

産業振興センターの指定管理者を指定する

○指定管理の事業者選定において公募事業者が一事業者であったことへの区の見解

○再委託される事業者数の妥当性

●議案第111号 指定管理者の指定について

みなと図書館の指定管理者を指定する

○災害時における帰宅困難者受け入れや避難所としての、みなと図書館の役割

○指定管理者として選考された評価すべき点

●議案第116号 港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例

特別区人事委員会の勧告を受け、幼稚園教育職員の期末手当の支給月数を改定する

○民間の期末手当支給月数と公務員の期末手当支給月数との比較における民間の比較対象の妥当性

○コロナ禍において手当が減額されることによる働く意欲の低下

#### 閉会中の委員会活動

主な報告事項

◇区民交通傷害保険の加入受付方法の変更等

◇各地区総合支所区民課窓口におけるキャッシュレス決済及び混雑状況のWEB表示サービスの開始

## 特別委員会の活動記録

### 閉会中の主な報告事項

●交通・環境等対策

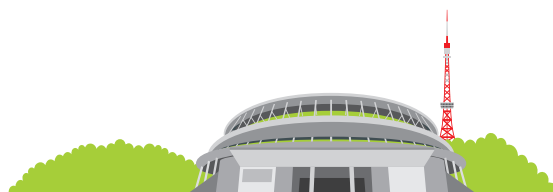
◇港区バリアフリー基本構想(素案)

◇浜松町二丁目地区第一種市街地再開発事業環境影響調査書案

●東京オリンピック・パラリンピック対策

◇東京2020大会の開催延期による現時点の見直し事項等

◇東京2020大会期間中における区有施設等の貸出及び利用予定



# 議案等の審議結果

令和2年第4回定例会 案件名		各会派の態度								議決結果	
		議自 員民 団党	政 策 会 議	み な と	議 公 員 明 団	議 共 員 産 団	ス 都 民 フ ア ー の 会	街 づ く り ミ ナ ト	ス マ イ ル 党		負 け な い 会
議案 第92号	港区震災後の区民生活の再建並びに産業及びまちの復旧復興のための基金条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第93号	港区分担金等に係る督促および滞納処分ならびに延滞金に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第94号	港区廃棄物の処理及び再利用に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第95号	港区印鑑条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第96号	港区立認定こども園条例及び港区保育の実施に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第97号	港区児童相談所の設置に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第98号	港区小児慢性特定疾病審査会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第99号	港区児童福祉審議会条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第100号	港区児童福祉施設の設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第101号	港区幼保連携型認定こども園の学級の編制、職員、設備及び運営に関する基準を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第102号	港区幼保連携型認定こども園以外の認定こども園の認定の要件を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第103号	港区指定障害児通所支援の事業等の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第104号	港区指定障害児入所施設の人員、設備及び運営に関する基準等を定める条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第105号	港区児童育成手当条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第106号	港区国民健康保険条例等の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第107号	令和2年度港区一般会計補正予算(第6号) ●歳入歳出それぞれ1,524,068千円を追加し、総額をそれぞれ188,141,050千円とする。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第108号	物品の購入について((仮称)港区子ども家庭総合支援センター什器等)	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第109号	訴えの提起について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第110号	指定管理者の指定について(港区立産業振興センター)	○	○	○	×	○	○	○	×	○	原案可決
議案 第111号	指定管理者の指定について(港区立みなと図書館)	○	○	○	×	○	○	○	×	○	原案可決
議案 第112号	児童自立支援施設に係る事務の委託に関する協議について	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第113号	港区議会議員の議員報酬及び費用弁償等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第114号	港区長等の給料等に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第115号	港区職員の給与に関する条例及び港区会計年度任用職員の給与及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第116号	港区幼稚園教育職員の給与に関する条例の一部を改正する条例	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第117号	令和2年度港区一般会計補正予算(第7号) ●歳入歳出それぞれ36,938千円を減額し、総額をそれぞれ188,104,112千円とする。	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第118号	令和2年度港区国民健康保険事業会計補正予算(第3号) ●歳入歳出それぞれ49千円を減額し、総額をそれぞれ23,732,773千円とする。	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第119号	令和2年度港区後期高齢者医療会計補正予算(第2号) ●歳入歳出それぞれ10千円を減額し、総額をそれぞれ5,741,397千円とする。	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決
議案 第120号	令和2年度港区介護保険会計補正予算(第2号) ●歳入歳出それぞれ757千円を減額し、総額をそれぞれ18,704,422千円とする。	○	○	○	×	○	○	○	○	○	原案可決



令和2年第4回定例会 案件名		各党派の態度								議決結果	
		議員民 団党	政策 会議	み な と	議員 明 団党	共 産 党	都 民 の 会	街 づ く り	スマ イル 党		負 け な い 会
請願2 第7号	福島第一原発多核種除去設備等処理水の水蒸気放出及び海洋放出に反対し「国への意見書提出を求める」請願書	×	○	×	○	×	○	○	×	×	不採択
請願2 第8号	港区の児童相談所設置に際して、児童虐待の通報などで認知したあとに予防、再発防止対策を充実してほしい請願	×	○	×	○	×	○	○	×	×	不採択
請願2 第9号	泉岳寺前児童遊園を移設させないことを求める請願	×	×	×	○	×	×	×	×	×	不採択
請願2 第10号	ゼロカーボンシティ宣言に関する請願	○	○	○	○	○	○	○	○	○	採択
発案2 第7号	赤坂大輔議員に対して再度議員辞職を勧告する決議	○	○	○	○	○	○	○	○	—	原案可決
発案2 第8号	港区議会議員の議員報酬等の特例に関する条例	○	○	○	○	○	○	○	○	○	原案可決

## 皆さんから提出された請願

### 採択とした請願

- ▼ゼロカーボンシティ宣言に関する請願

### 不採択とした請願

- ▼福島第一原発多核種除去設備等処理水の水蒸気放出及び海洋放出に反対し「国への意見書提出を求める」請願書
- ▼港区の児童相談所設置に際して、児童虐待の通報などで認知したあとに予防、再発防止対策を充実してほしい請願
- ▼泉岳寺前児童遊園を移設させないことを求める請願

### 継続審査とした請願

- ▼港区における特定遊興飲食店営業の指定地域追加願に関する請願
- ▼羽田空港増便による都心および港区の低空飛行ルート計画の撤回を含む再検討を国に求める請願
- ▼羽田空港新飛行経路の港区上空飛行に備えた港区航空事故災害対策計画の策定を求める請願
- ▼東京都市計画道路幹線街路環状第4号線にかかる港区立白金児童遊園敷地と港区立白金台幼稚園の敷地を東京都に譲渡しないで頂きたい事を求める請願
- ▼羽田新飛行経路の運用延期または再検討を求める請願
- ▼羽田空港新飛行ルートの見直しを国に求める請願
- ▼2030年CO2削減目標引き上げに関する請願

## 請願書の書き方 皆さんの声を区政に！

港区議会では、広く皆さんの意見や要望を請願として受け付けています。  
特に定められた様式はありませんが、下記の書き方を参考に、次の必要事項を書いてください。

- 1 請願は、日本語で書いてください。なお、作成に当たっては、改ざんを防止する目的から、鉛筆や、いわゆる「消せるボールペン」での記入はご遠慮ください。
- 2 あて先は「港区議会議長」としてください。
- 3 請願者の住所、氏名（自署又は記名押印）、電話番号を書いてください。なお、請願者が多数のときは、代表者を定めて署名簿を添付してください。
- 4 請願の趣旨を簡潔に書いてください。
- 5 請願理由を趣旨に沿った具体的な内容をご記入ください。

提出前に、区議会事務局に請願書の書き方・提出方法などをご相談ください。

### 【提出・問い合わせ先】

区議会事務局議事係 電話 03-3578-2915

### 書き方

(A4判用紙・おもて)

(A4判用紙・うら又は2枚目)

<p>○○○に関する請願</p> <p>港区議会議長 ○○ ○○ 様</p> <p style="text-align: right;">提出年月日</p> <p>請願者 住 所 氏 名 (署名又は記名押印) 電話番号</p> <p>請願の趣旨(簡潔に) ○○を○○○してほしい。</p>	<p>請願理由</p> <p>請願の趣旨に沿った具体的な内容をご記入ください。</p>
--	---

## 決議しました(令和2年11月26日)

### ●赤坂大輔議員に対して 再度議員辞職を勧告する決議

令和2年8月6日、赤坂大輔議員は公然わいせつ容疑で神奈川県宮前警察署の署員に現行犯逮捕されました。

港区議会は、逮捕された事実を受け、同年9月7日「赤坂大輔議員に対する議員辞職勧告」を決議しました。

しかしながら、

- 赤坂大輔議員は、辞職勧告が決議されたにもかかわらず、現在まで辞職の意思を表明していないこと。
- 報道によると、赤坂大輔議員は公然わいせつ罪で略式起訴され、同年9月23日付けで罰金の略式命令が出されたこと。

以上のことから、区民の信託を受けた代表として自覚を著しく欠いた行為の責任を認め、自らの意思で議員を辞職すべきであります。引き続き港区議会議員として活動を継続することは、区民をないがしろにするものと断ぜざるを得ません。

よって、港区議会は、赤坂大輔議員に対し、速やかに議員を辞職するよう再度求めます。

以上、決議する。



決議時の様子(11月26日本会議)

## 動画配信をご覧ください

本会議と予算・決算特別委員会の様子をライブ配信・録画配信しています。

ライブ配信・録画配信は、スマートフォンやタブレット端末でも視聴できますので、どうぞご覧ください。



## 区議会だよりの表紙をあなたの写真で飾りませんか？

次回4月発行予定の「区議会だより」の表紙を飾る写真(デジタルデータ)を募集します。

**写真のテーマ** 私が好きな港区の風景  
(発行月(4月)の季節にあった風景)

**応募規定** 1. 区内で撮影された横向き写真  
2. 5MB以上のJPEGデータ(未発表の写真)を外部記憶媒体(CD-ROM等)に書き込み、ご郵送ください(返却不可)。



**応募方法** 1. 撮影場所、撮影日時、住所、氏名、電話番号、写真のコメント(17文字以内)を明記してください。  
2. 応募締切 発行月の前月15日まで  
(次回掲載号は3月15日締切)  
3. 応募・問い合わせ先  
〒105-8511 港区芝公園1-5-25  
区議会事務局 議会広報担当(電話 03-3578-2920)

**その他** 掲載作品の選考は「区議会だより編集委員会」で行います。

◆この「区議会だより」は、新聞折り込みのほか、区の主な施設の窓口にも置いてあります。また、郵便局、公衆浴場、東京メトロ7駅、JR(浜松町・田町)2駅、ゆりかもめ5駅などに置いてあります。

◆戸別配付も行っていますので、ご希望の方はご連絡ください。

◆「区議会だより点字版」「声の区議会だより」も発行していますので、ご利用ください。「声の区議会だより」はホームページにも掲載しています。

【申し込み・問い合わせ先】

区議会事務局議会広報担当 電話 03-3578-2920

## あしがき

令和3年第1回定例会は2月中旬に開会する予定です。

編集委員

副議長 阿部 浩子

小倉 りえこ

石渡 ゆきこ

池田 たけし

熊田 ちづ子